

NO.	項目		令和5年度対計画比を踏まえた分析・考察 (要介護認定者数・要介護認定率のみ令和6年度)	備考
1	要介護認定者数(R6年度)		要介護認定者数、要介護認定率ともに概ね計画どおりに推移している。	総括表
2	要介護認定率(R6年度)			
3	利用者数	施設サービス	概ね計画どおりに推移している。	総括表詳細(1)
4		居住系サービス	概ね計画どおりに推移している。	
5		在宅サービス	在宅サービス全体では、概ね計画どおりの利用者人数で推移しているが、訪問入浴介護、短期入所、小規模多機能型居宅介護は事業所の定員(母数)が少ないため、対比に変動が起こりやすい。	
6	受給率	施設サービス	利用者数分析と同様	総括表詳細(2)
7		居住系サービス	利用者数分析と同様	
8		在宅サービス	利用者数分析と同様	
9	1人1月あたり利用日数・回数		訪問入浴介護、地域密着型通所介護が計画値より減少しているが、利用者数が減少していることによるものと伺える。訪問リハ、短期入所の要支援者の日数・回数計画値の分母が少ないことから、対比に変動が起こりやすい。	総括表詳細(3)
10	受給者1人あたり給付費	施設サービス	概ね計画どおりに推移している。	総括表詳細(4)
11		居住系サービス	概ね計画どおりに推移している。	
12		在宅サービス	概ね計画どおりに推移している。	
13	給付費	施設サービス	概ね計画どおりに推移している。	総括表詳細(5)
14		居住系サービス	概ね計画どおりに推移している。	
15		在宅サービス	在宅サービス全体では、訪問リハ、居宅療養管理指導が計画値より増加しているが、利用者が増加していることによることと伺える。短期入所訪生活介護、地域密着型通所介護が計画値より減少している理由として、利用者数は減少しているが、1人1月あたり利用日数・回数は計画値を上回っていることから、利用者が限定され、より多くのサービスを利用している状況と伺える。	